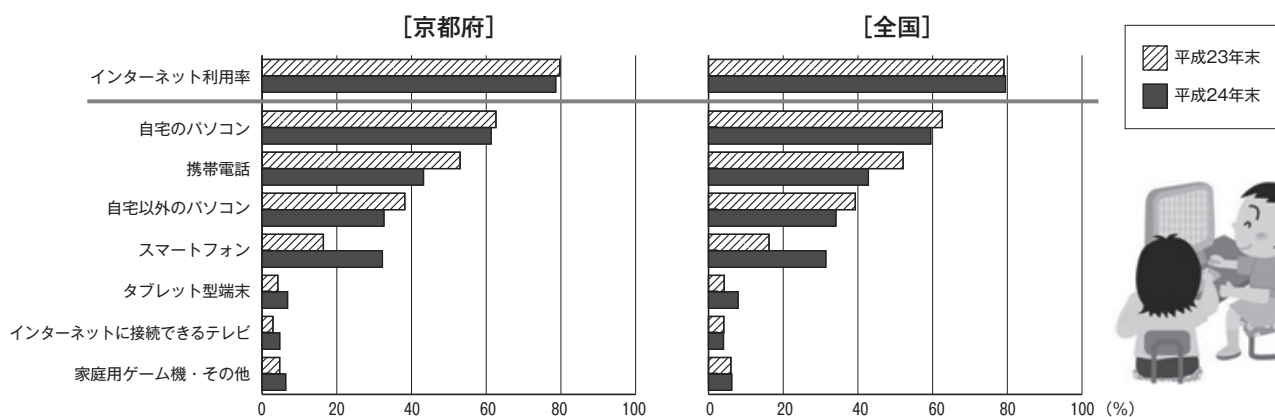


インターネット 何で見る？ 何に使う？ ～通信利用動向調査から～

総務省の通信利用動向調査では、平成24年の1年間にインターネットを利用したことがある人は、全国で79.5%、京都府で78.6%となり、約8割近くの人たちにインターネットが普及していることとなります。(図1)

図1 インターネット利用端末の種類(複数回答)

資料：総務省「通信利用動向調査」



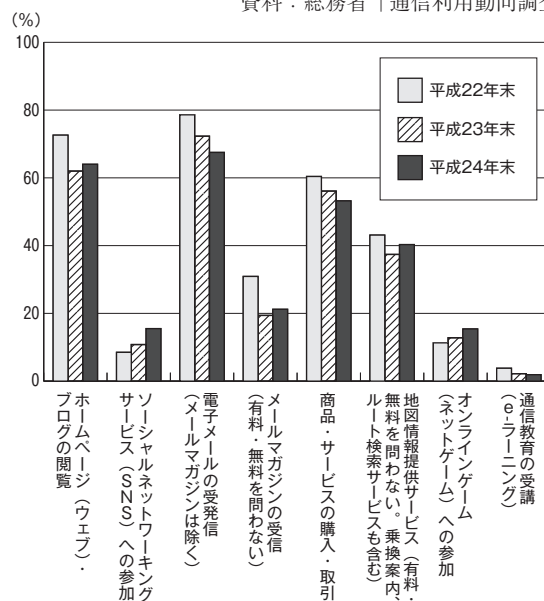
さて、インターネットを利用する人が何を使ってインターネットにアクセスしているかを見てみましょう。京都府の平成24年末では、「自宅のパソコン」が61.3%と最も多く、次いで「携帯電話」(43.2%)、「自宅以外のパソコン」(32.6%)となっています。

また、平成23年末と平成24年末を比べると、「スマートフォン」(16.4%から32.2%)、「タブレット端末」(4.2%から6.8%)が増加しているのに対し、「自宅のパソコン」(62.6%から61.3%)、「携帯電話」(53.0%から43.2%)、「自宅以外のパソコン」(38.2%から32.6%)が減少しています。これは、全国と比べてみても同様の傾向となっています。(図1)

さらに、インターネットの利用目的について京都府を見てみますと、平成24年末で、「電子メールの受発信」(67.5%)、「ホームページ(ウェブ)・ブログの閲覧」(64.0%)、「商品・サービスの購入・取引」(53.2%)が多くなっており、ポイントは低いものの「ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)への参加」(15.5%)が増加傾向にあります。(図2)

図2 過去1年間にインターネットで利用した機能・サービス(個人) [京都府]

資料：総務省「通信利用動向調査」



※インターネット利用者に占める機能・サービス別利用者を示す。(複数回答、項目抜粋)